

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
五所川原市中心市街地地区

平成24年3月

青森県五所川原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合意見			
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
指標1	五所川原立俣武多 入込客数	万人	162.5	200	180.5	確定 見込み	●	△	あり なし	● なし	174	H23年9月	△	東日本大震災の影響があったと思われる	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には至らなかったが、近年安定した入込客数を確保している。
指標2	空き店舗数	店舗	24	0	0	確定 見込み	●	○	あり なし		0	H24年3月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	基盤施設の整備の進捗に伴い、店舗の建設が進んでいる。建替えられた店舗や新規参入した店舗は、観光客から好評を得ている。
指標3	歩行者空間利用アンケート	%	77.8	25.0	78.2	確定 見込み	●	×	あり なし	●	74.0	H24年3月	×	事業中であり、道路や広場が完成していない	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩道・広場が整備中であり、十分な事業効果がアンケートに反映されていないため、早期に完成させる必要がある。
指標4						確定 見込み			あり なし						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合意見			
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
その他の数値指標1	五所川原立俣武多 参加団体数	団体	16	/	19	確定 見込み	●	/	/	/	20	H23年9月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	立俣武多を利用した賑わいのあるまちづくりに効果を発揮した。
その他の数値指標2				/	/	確定 見込み		/	/	/	/	/	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3				/	/	確定 見込み		/	/	/	/	/	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	歩行者空間・広場の有効利用	県内としては最大規模の軽トラ市を実施している。	平成22年度は1万2800人、平成23年度は1万5500人の来場者があり、出店者の売り上げも増加している。	広場・歩道の完成後において、更なる有効活用ができるように管理体制の確立や広場設置条例の制定などが必要である。
	空き店舗対策	商工会議所へ空き店舗対策に対する支援を実施している。	土地区画整理事業地区内においては、空き店舗に対する助成申請はなかった。	空き店舗の状況を見極め、必要に応じて支援策を検討する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歩行者空間ネットワーク整備	都市再生区画整理事業により実施している。	平成27年度完了見込みであるため、歩行者空間ネットワークは完了していない。	ゆとりある歩道の整備及び情報板や案内板設置工事を完了させ、快適な歩行者空間を確保し、まち歩きが楽しいまちづくりを推進する。
	「立佞武多の館」及び関連した商店のPR不足	観光PR用のパンフレット作成事業を実施している。	作成したパンフレットは、関東・関西・九州への公的観光施設に配布しており、誘客に効果があった。	今後、更なる誘客を推進するため、ホームページを活用したPR活動を実施するほか、全国や海外へのプロモーション事業を積極的に展開する。
	アーケード撤去による歩行者対策	融雪溝の設置工事を進めている。	融雪溝は、整備中であるが設置後においては、商店街などの協力により、歩道除雪を行うことで降雪時の歩行者空間を確保する。	歩道除雪の時間帯や方法等について、協力体制を確立する。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり対策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
都市再生整備計画事業で完了できなかった中心市街地の都市基盤施設の整備を継続する。	歩行者空間(歩道)、広場、耐震性貯水槽、情報板などを整備する。	平成23年度から平成27年度	社会資本整備総合交付金事業を活用し、計画期間内に都市基盤施設の整備を完了させる。耐震性貯水槽の設置により、地震等災害時における飲料水を確保し、安全・安心な都市環境の形成を図る。
まちを積極的に使うソフト事業を推進する。	市民の防災意識の啓発を目的としたイベントやまちなかに人を呼び込むイベントの開催	平成25年度以降	都市計画・商工・福祉・農林水産・防災・教育などの関係部局と連携し、また市民・企業との協働により市街地の活性化を図る。